

# ゾーン30プラス

～交通事故のない生活道路を目指して～

南区大岡小学校周辺地区を、神奈川県内で初めてゾーン30プラスとして設定しました。新たに、ゾーン30プラスの路面標示と標識を設置しています(令和4年8月工事完了)。ゾーン30プラスとは、警察と道路管理者が連携して、最高速度30km/hの区域規制(ゾーン30)と物理的デバイス\*を適切に組み合わせ、生活道路の交通安全の向上を図る取り組みです。  
※物理的デバイスとは道路上に段差をもうけるハンプ、道幅を狭くする狭さく等のことをいいます。



## 大岡小学校周辺の交通安全対策について関係者にお話を伺いました。

連合町内会 会長

幹線道路の抜け道として速い速度で走行する車が多く、大変危険に思い、何か出来ないものか感じていました。今回の対策が認知され、日を追うごとに車の速度が遅くなっていくのを実感しました。今後も地域住民の方の声を聞きながら、よりよい地域にしていきたいです。

大岡小学校 校長

交差点カラー化など注意を要する箇所を「見える化」していただいたことで、子どもたちへ注意を促しやすくなりました。子どもたちも、保護者の方も安全性が高まっているということを確認しています。このような対策を大岡小学校周辺に取り入れてくださったことに大変感謝しています。

南土木事務所 所長

路側帯の拡幅を行い歩行空間を確保したり、見通しが悪い箇所にカーブミラーを追加設置する等、近隣住民の皆様の意見を参考に、様々な対策を実施することができました。本地区は県内で初めてゾーン30プラスとして整備したので、今回の対策効果を広く周知していきたいと考えています。

南警察署 交通課長

道路管理者、小学校、近隣住民の皆様と一体となり対策案を検討したことで、効果的な対策を円滑に実施できました。特に「止まれ」の強調表示は地域の方から一時停止規制が分かりやすくなったとの声をいただいています。今後は区域内のパトロール活動にも取り組み、交通安全対策を推進していきたいと考えています。

学識経験者\*

地元の町内会の方や小学校の先生にも入っていただいた協議会を立ち上げ、客観的なデータに基づいた議論がなされており、非常に合理的な進め方でした。横浜市で初めて交差点ハンプを設置するとともに、住宅街の中で面的に対策を実施した先進的な取組ですので、今後も展開していただきたいと思います。  
\*埼玉大学 久保田 尚教授

問合せ先・発行元 **横浜市道路局施設課** 電話:045-671-2785

施設課ホームページ「生活道路におけるビッグデータを活用した交通安全対策 南区大岡小学校周辺地区」

交通安全 南区大岡小学校周辺地区 で検索 スマートフォンでも確認することができます。▶



※掲載している地図は、国土地理院地図に対策実施箇所などを追記して掲載したものです。

※「2次元コード」は特許登録商標です。



横浜市道路局施設課

# 南区大岡小学校周辺地区 交通安全対策協議会ニュース

## 安全対策の工事を行い、車の速度低下が確認されました。

南区大岡小学校周辺地区の生活道路において、令和4年1月に交通安全対策の工事を行いました。対策の効果を確認するため、ビッグデータ(ETC2.0)\*による交通状況の分析やアンケートを行いました。

※ビッグデータ(ETC2.0)とは、ETC2.0を搭載している車両から収集される走行データ

## 対策内容

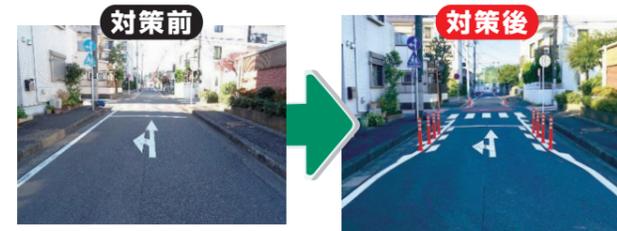
- ① 狭さく  
「止まれ」の強調表示  
交差点カラー化
- ② 狭さく  
「止まれ」の強調表示
- ③ 交差点カラー化  
「止まれ」の強調表示
- ④ 交差点ハンプ  
減速ドットライン  
カーブミラー  
「止まれ」の強調表示
- ⑤ ハンプ  
「止まれ」の強調表示



- ⑥ 交差点カラー化  
「止まれ」の強調表示
- ⑦ 車道幅員の減少・減速ドットライン  
「止まれ」の強調表示
- ⑧ 交差点カラー枠囲み  
「止まれ」の強調表示
- ⑨ 「止まれ」の強調表示
- ⑩ 交差点カラー化  
「止まれ」の強調表示
- ⑪ 「止まれ」の強調表示

路線A~C  
車道幅員の減少(路側帯拡幅)

### 狭さく\*



※狭さくは道幅を狭くすることをいいます。

### 「止まれ」の強調表示

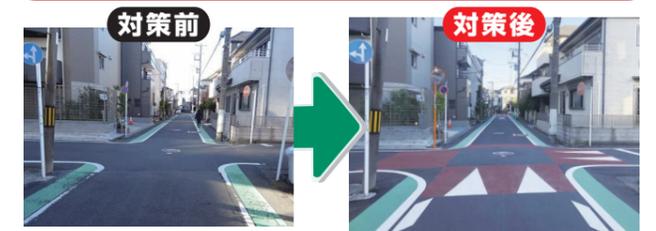


### ハンプ\*



※ハンプ・交差点ハンプは道路上に設けられた台形状の段差のことをいいます。

### 交差点ハンプ\*



# ビッグデータ(ETC2.0)※による交通状況分析

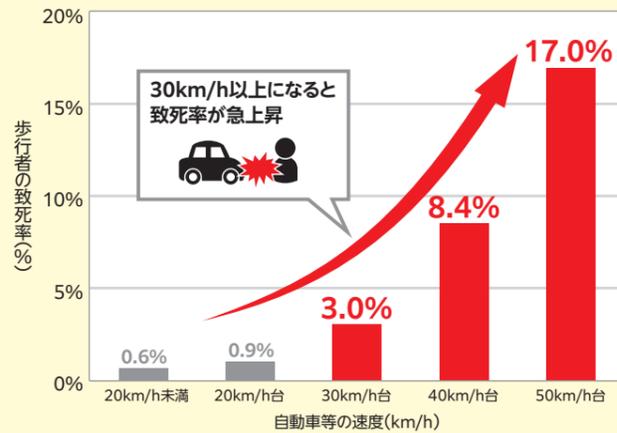
狭さく、ハンプを設置した路線を対象に、ビッグデータ(ETC2.0)で車の走行速度を確認しました。

- 狭さく設置路線では**8.1km/h**、ハンプ設置路線では**12.5km/h**速度低下しました。
- 30km/h以上で走行する車の割合は、狭さく設置路線では**47.1%**、ハンプ設置路線では**22.3%**低下しました。

※ビッグデータ(ETC2.0)とは、ETC2.0を搭載している車両から収集される走行データ



## 車の速度と歩行者との致死率の関係

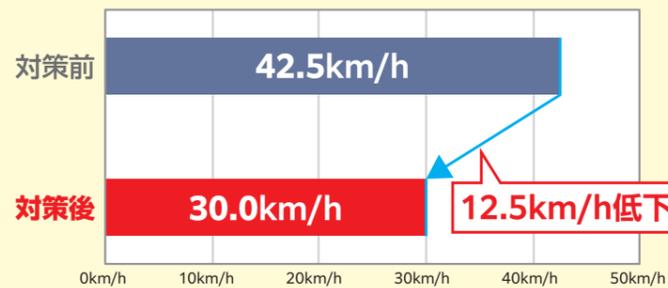


●「自動車等」とは自動車、自動二輪及び原動機付自転車をいう。  
●平成29年から令和3年までに車道幅員5.5m未満の道路の単路で発生した人対車両事故の分析による。  
●致死率とは、死傷者数に対する死者数の割合をいう。  
●警察庁資料をもとに、横浜市が作成

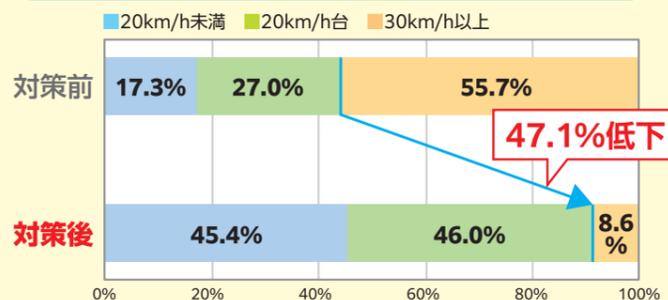
## 狭さく設置路線 走行速度



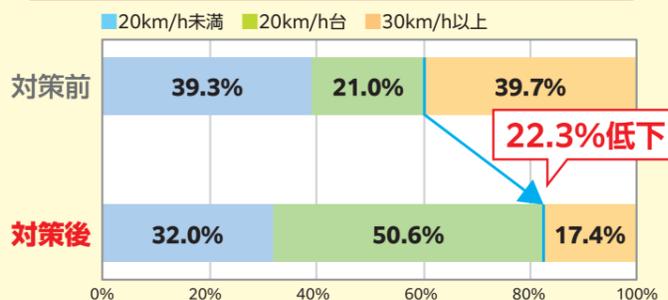
## ハンプ設置路線 走行速度



## 狭さく設置路線 速度分布



## ハンプ設置路線 速度分布



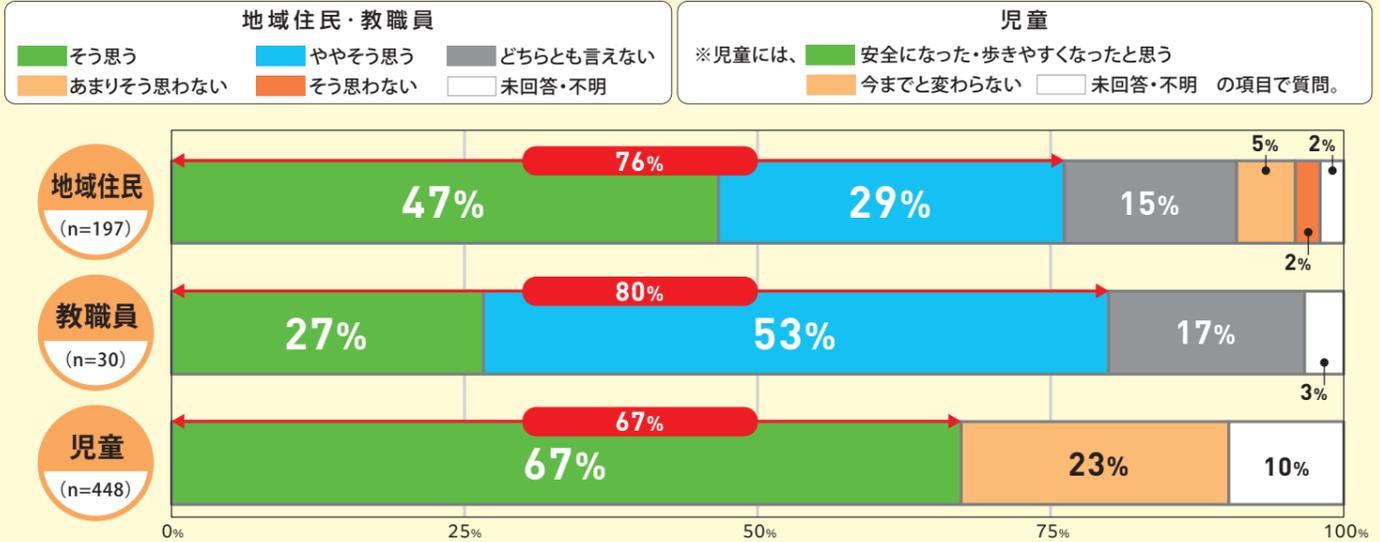
●ETC2.0分析結果(国土交通省提供)を加工し、横浜市が作成 ●走行速度は85%マイル速度(85%のドライバーが走行する実勢速度)  
分析データ:ETC2.0 対策前:平成31年1月1日~令和元年12月31日、対策後:令和4年2月1日~2月28日

# アンケート

大岡小学校周辺地区の地域住民のみならず、小学校の教職員及び児童を対象に、対策の効果についてアンケート調査を行いました。ご協力いただきありがとうございました。

- 地域住民の**76%**、教職員の**80%**が「**安全性が向上した**」と回答しています。
- 児童の**67%**が「**安全になった・歩きやすくなった**」と回答しています。

Q 対策により、安全性が向上したと思いますか？



## みなさまからいただいた主な感想・質問

### 感想

- 安全に対する意識が高まった。(住民)
- 対策により車が減速するようになった。(住民)
- 子どもが小学校に通っている中で、交差点の危険性についてはとても気になっていたのですが、今回実施していただきありがとうございます。通学路が安全なものとなるよう願います。(住民)
- 車の運転者にとって、視覚的にわかりやすくなり、子どもが通学する道の安全性が向上したと思う。(教職員)
- 子どもたちのために考えてくださり、ありがとうございました。(教職員)
- ハンプがあり、車が速度を落とすので、公園に行くとき怖くなくなった。(4年生)
- 事故を予防できると思うし、歩きやすくなったと思う。(6年生)
- 停止線があっても、一時停止しない車が出て怖かったけど、ハンプが作られて安心して通ることができた。(6年生)
- 歩きやすくなってうれしいし、通りやすい。(3年生)

### 質問

- 今回の安全対策が、住民にあまり認知されていない。(住民)
- ハンプの色をどういう意味でつけたかよくわからない。車道に段差をつけるのは、逆に車のほうが危なくないですか。(4年生)

### 回答

これまで協議会ニュースなどで周知を行っていましたが、引き続き、協議会ニュース発行やホームページなどを通じて、情報提供を行います。

ハンプの色を塗ることにより、運転手に段差があることを強調しています。段差をつけていることにより、速い速度で車を走行させると運転手が不快に感じる形状になっていますが、規制速度の30km/h以下で車が走行すれば危なくありません。